



香取市

ゼロカーボンシティ宣言

わたくしたちの香取市は、雄大な利根の流れと肥沃な北総台地に生まれ、香取の杜や伝統的な町並みを持つ、豊かな自然と長い歴史のあるまちです。このような先人から受け継いだ恵まれた環境をより良い姿で、将来の世代へ引き継ぐことが重要です。

近年、地球温暖化を起因とする気候変動の影響により、猛暑や集中豪雨等による自然災害が頻発化し、日常の生活に深刻な影響を及ぼしています。

地球温暖化への対応が世界共通の喫緊の課題となっている中、2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の報告書では、これらのリスクを低減するためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要とされています。

我が国においては、2020年に「2050年カーボンニュートラル」が宣言され、また、2021年には千葉県が「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」を行い、今後の脱炭素社会に向けた様々な取り組みが進められています。

これらを踏まえ、香取市はSDGsの理念のもとに、市民や事業者、行政など多様な主体との協働による脱炭素に向けた取り組みを加速するため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和6年3月22日

香取市長

伊藤友則